



ピース!
Peace

令和 5 年 7 月 3 日

学校だより 第 5 号

校長 宮田 幸治

Team Shiroyama

Peace 飛び交う、楽しい学校をつくろう！

HP <https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/>

「城山っ子の心を見つめる教育週間」 ご参観ありがとうございました！

20 年前、私の一番下の娘は幼稚園に通っていました。家に帰ってきた娘は「同じクラスの〇〇ちゃんがいなくなって、死んじゃったんだ。」と幼いながらに涙を流して友達の死を悲しんでいました。幼稚園では仲良しで、一緒に遊ぶことも多かったようで、ショックも大きかったようです。幼稚園に出向くと、子供たちは小さな手にそれぞれ花を持ち、亡くなった友達の冥福をお祈りしていました。幼稚園の先生方の落胆の様子も言葉の掛けようがなく、子供たちの楽しい元気な声が響くはずの幼稚園全体がどんよりと重く暗い雰囲気だったのを今も覚えています。長崎県の教育週間が始まるきっかけとなった衝撃的な事件の被害者は、娘の同級生だったのです。誰にとっても、大切な自分の子どもです。この先にある未来の姿に多くの楽しみを持っていたそのご両親のお気持ちを察すると本当に心が痛みました。また、教員としての自分は、その加害者が中学生であったことも衝撃でした。どの学校でも命の大切さの学習は行い、特に長崎市内の学校は原爆の被害の悲惨さを忘れず、平和な世の中を目指す平和に関する教育にも力を入れているにもかかわらず起きてしまった事件に、何とも言えない気持ちになりました。

「本校から平和の大切さを発信すること」は大きな役割だと考えています。その役割をしっかりと果たすためには、派手なアピール等ではなく、周りの友達の気持ちを察して行動できるように、日々子供たちとキャッチボールをしながら継続的に言葉掛けをしていくことが大切だと考えています。

「Peace 飛び交う、楽しい学校をつくろう！」の合言葉だけが独り歩きすることなく、子供たちの活動として表れてくるよう、また、子供が安心して、自分の考えをつぶやいたり失敗を恐れずにやってみたりできるよう、今後も心に響く教育活動に取り組んでいきます。保護者の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

教育週間では、お忙しい中に多くの皆様に学校へお越しいただき、感謝しております。ありがとうございました。

みんなで考えよう「命って」「家族って」「友達って」
～みんなで行動しよう！Peace飛び交う、楽しい城山小学校とするために～

心って、直接は見えないかもしれないけど、じーっと相手の顔や動きを見たり、声を聞いたり、気持ちを感じたりすると、見えるかもしれないね…

だから、いい愛顔で、みんなが喜ぶことや、みんなの役に立つことをして、みんながほんわかうれしくなる言葉を使って、お互いの気持ちを感じ合えるようになると、きっと、楽しい楽しい城山小学校になるんじゃないかなあ…

みんなが、そんな気持ちで、「やってみようよ」とがんばること、いつの日かそれが当たり前になること。そんなふうに向かっていくみんなの思いが一つにそろつと、ほんとうの平和を目指す楽しい学校へとつながるんじゃないかなあ…

「城山っ子の心を見つめる教育週間」

